

ちづせき・函館

▽今年度は、北海道が明治二年に命名されて150年目の節目の年となります。そして北海道地方本部にとつても前身である日本砕石協会北海道支部が昭和33年に創立されて60周年の年でも有ります。この間先人たちは、国土の2割強を占める大地で将来的に我々が安心な暮らしを営み自然災害に強い地域のインフラ整備に心血を注いでくれたものと改めて感謝するものです。私たちは、少子高齢化が進む中、砕石業の意義を再確認し、安心でやりがいのある職環境整備・生産技術の効率化・人材育成と担い手の確保・適正価格の追求を模索して行かなくてはなりません。それは私共がこれから次世代にしっかりと引き継いで行く事も先人から託されたものとして感じています。

▽話は変わりますが、毎日の様に降り続く雪にウンザリしている方々も居るかもしれません。早く春が来てくれればと真つ白な山を見ては溜息ばかりです。

うちの近所の御老人達は実に勤勉に雪かきをしております。

毎年思う事ですが、一冬ごとに進化している様な気にさえなります。下手すると私の自宅の前まで雪かきをして下さり、まったく私としてはバツの悪い朝を迎えている事しばしばです。やる事ないのでご老人の家の前に塩カリを撒く程度が私のせめてもの感謝の意志表示に成っています。明日は、早く起きる事を心がけ今日もまた、夜更かしです。

(社)日砕協北海道地方本部

北海道砕石協同組合連合会

◇平成29年度の骨材生産事業所に於ける死亡災害者数は前年比5人増の14人となっております。このうち砕石業の死亡者数は4人増の8人に倍増する結果となっております。内訳は、福島県2件(いずれも石材)静岡県1件、大阪府1件、岡山県3件、長崎県1件となっております。左表にある計は、一般社団法人日本砕石協会の会員事業所の死亡災害の罹災者数ですが前年比1人減の3人と改善はしておりますが、より一層労働災害防止対策には努めなくてはなりません。

日砕協会員の過去10年間の死亡災害発生状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
20年	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	4
21年	1	0	1	0	1	4	1	0	0	0	0	1	9
22年	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
23年	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	2	0	7
24年	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
25年	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
26年	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	8
27年	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	5
28年	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4
29年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3

◇災害注意

※冬は、寒さと日没の早さで、安全管理には良くない条件ばかりです。特に「滑り」が原因の転倒災害が考えられます。新雪でアイスバーンが覆われている等足元が滑りやすくなっていることに気づかず転んでしまう事もあります。注意してください。

道南地区砕石協同組合・協会動向

◇道南火薬類保安協議会の設立について

開催日時：2月1日午前11時から
開催場所：七飯町 奴寿司2階会議室
対象会員は、北火協会員のみで設立総会を開催し、新役員人事と事務局体制が決まりました。

◇役員会と親睦会

役員会：2月22日15時より
協会事務所にて
主な議題

平成29年度収支決算見込み
平成30年度収支予算と行事確認
その他

値上げ要望に係る新聞広告について
親睦会：18時より
五稜郭『割烹 あべ』にて

◇事務局より◇

①昨年度、実施された
『採石業務管理者試験』
『火薬類保安責任者試験』
の問題と解答をまとめてみました。
ご希望の方は、「ご連絡ください。」

②2月1日、渡島総合振興局の商工労働課と林務課に少し遅くなりましたが新年の挨拶に行つて参りました。

③2月9日から第23回冬季オリンピックが、お隣韓国で開催されています。過去最多となる92か国・地域から二千九百人超の選手が参加して盛り上がっています。日本は長野オリンピックに並ぶメダルを獲得し頑張っています。今までの努力が実った人。メダルはともかく自分なりの成果を感じ取った人。毎日テレビを見て感動を頂いておりますが、オリンピックの後にこれまた感動のオリンピックが開催されます。出来ればそれらが終わった後も平和でいたいと思いますが、どうでしょうか。また、頻繁に起っている地震にも火山活動にもインフルエンザにも注意しなくてはなりません。甘酒飲んでいい夢見て近くまで来ている春の訪れを待ちたいと思います。

